

皆さんこんにちは
本日我々は
この学校に徒
お邪魔しており……

んー♪
いい風！

天気いいと
気分もいい
わよね！

そう
ですね

早速美少女三人はっけ〜ん♡

我々は透明になり
こうして和を乱さず
日常に溶け込み
人々の観察を行っている……

ただ透明化しても
体毛は見えてしまうので
全身脱毛したり
全裸になったり
しなければならぬ
お陰でこんな有様だ

そよ風が
涼しくて
心地良い……

こんな日は
事務作業も
捗ります

もう少し！
もう少しで本日の
観察ポイントが
我が視界に――

こんなに日に
閉じ籠ってちゃ
もったい
なくない？

うっぴよおおい♡

へえ……こんな下着

なんだあ♡

あ！外出は

しなくて

いいからね！

休憩がたら
外出するのも
良いかも
ですね……

って
夕風

スカートが
風で捲れて
いますよ

え？
やだ！

あんにやろう
何先走ってやがる！

でも
そこまで強い
風なんて
吹いてないし

おかしい
わね……

おいしい！
触るつもりか
ズルいぞ！じゃない
我々のミッシェンは
そんな我欲を
満たす為のモノでは
ないだろう！

ひやあああつ！

何事ですか
いきなり
叫んで

し…下着の中に
何か入ってえ！
這ってるううツ
虫？虫よね？ 詩姫
取ってええ

もぞ

もぞ

くっそお
俺だって若いピッチピチお尻
触りてえよ！

待って！
本当にそれ
おかしい
ですよ

それに
微弱ながら
妙な気配も
あります！

もう
我慢
できない！

カッ

やっちまったなああツ！

これはもしや
D パーツ所持者の
襲撃かもしれ――

する……

グウーレイトオオオおおおツ♡

やってやったぜ！
やっペパイパンだ♡
天然ツルツルオマァムコだ！
はあはあ……♡
驚いた顔可愛すぎだろ！
こんな変態オッサンに
見られてるなんて夢にも……

この事件は
透明人間化の
D パーツ使い
二人の犯行で

遺産博物館
管理長
櫻ノ杜詩姫の
手によって

犯人は
すみやかに
処分された

え？

え？

え？

!?